

RPPC メールマガジン 第 826 号

リサイクルポート推進協議会（令和 2 年 6 月 3 日）

■事務局からのお知らせ

- 1.総会関連のお知らせを当協議会のホームページにアップ致しますので、こちらからもご確認ください。
(議案書等に関してもこちらから閲覧できる予定です。)

▽リサイクルポート推進協議会ホームページ

<http://www.rppc.jp>

- 2.緊急事態宣言の解除に伴い、事務局業務も通常通りとなりましたので、メルマガにつきましても定期配信とさせていただきます。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

- 1.大阪湾岸道路西伸部、杭の静的載荷試験実施。地盤強度の詳細把握へ

近畿地方整備局神戸港湾事務所は 5 月 28 日、大阪湾岸道路西伸部事業における海上長大橋の技術検討の一環として、国内最大規模の大口径鋼管杭による静的載荷試験を実施した。静的載荷試験は地盤強度を詳細に把握する上で最も重要な調査。今後 6 月中旬に予定している急速載荷試験結果も踏まえてデータを取りまとめる。

鋼管杭による載荷試験を行っているのは、新港・灘浜航路部のうちの 2 P 主塔部。試験は実工事と同じ杭径 1 5 0 0 mm、長さ 60m の鋼管杭を用い、本年 3 月 25 日から衝撃載荷試験を行ってきており、海面下 55m（海底面下約 43m）まで打設している。今回は同杭を用いて静的載荷試験を実施したもので、杭頭に大型油圧ジャッキによって 3 万キロニュートンの圧力を加えて押し込み、その反力から地盤強度の正確なデータを取得する。

-
- 2.那覇港新港ふ頭クルーズバース、岸壁築造工事等順次着手

沖縄総合事務局開発建設部那覇港湾・空港整備事務所が整備中の那覇港新港ふ頭地区のクルーズバース事業が進捗している。同バースは昨年秋に現地着工になり、岸壁本体となるケーソン製作工事が始まっている。同整備事業では引き続きケーソン製作を進めるほか、岸壁築造工事も発注し、令和 4 年度初めの供用を目指す方針。

3.港湾局、総合的な防災・減災対策、防災部会へ骨子案を提示

国土交通省港湾局は5月25日、港湾における総合的な防災・減災対策の今後の方向性等を検討するため、「交通政策審議会港湾分科会防災部会」の第3回会合（WEB会議）を開催した。会合では事務局が「今後の港湾におけるハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策のあり方」の骨子案を提示。今後も議論を進め、今夏頃にとりまとめる方針。

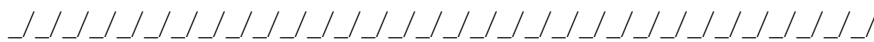
4.国交省、建設リサイクル推進計画案、意見募集

国土交通省は5月22日、建設副産物のリサイクル等を推進するため、同推進に向けた基本的考え方、目標、具体的施策等を内容とする「建設リサイクル推進計画2020」（案）を作成し公表した。電子政府の総合窓口（e-Gov）において、7月31日まで意見募集中。建設リサイクルについては今年3月、有識者等で構成する「建設リサイクル推進施策検討小委員会（委員長・勝見武 京都大学大学院教授）」において、「次期建設リサイクル推進計画に係る提言」がとりまとめられ、公表されていた。

今回の計画案は同提言を踏まえたもので、2024年度達成基準値としては、アスファルト・コンクリート塊の再資源化率99%以上、建設汚泥の再資源化・縮小率を95%以上、建設発生土の有効利用率80%以上等と位置付けている。

また、具体的施策では「廃プラスチックの分別・リサイクルの促進」、「リサイクル原則化ルールの改定」、「建設発生土のトレーサビリティシステム等の活用」、等を新規に挙げている。

【港湾空港タイムス 06月01日号から編集】



発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください